

## 2022年度 第1回 日本カプセル内視鏡学会 代議員会 議事録

日時：2022年2月13日（日）13:10～13:46（36分）

会場：京王プラザホテル カプセル内視鏡学会 第1会場(本館4F 花 AB) および WEB 会議  
ハイブリッド開催

### <はじめに>

1. JGA(第18回)/JACE(第15回)/IGICS(第15回)/JSMO(第49回)合同学術集会について  
第15回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長である松本理事より、開催の報告があった。
2. 議長である田中理事長より代議員総数100名のうち、委任状・WEB・会場をあわせ77名の参加が確認され、本会議が成立することが報告された。
3. 田中理事長より、議事録署名人に中村理事、樋口理事が推薦され、承認された。

### <審議事項>

#### 1. 財務委員会

##### 1) 2021年度（2020年12月～2021年11月）決算報告

加藤理事より2021年度の決算報告が代議委員会資料(4-5ページ参照)に基づいて報告された。

支出の部 臨床研究事業費のCoLoCam Jについては、統計処理などのため50万円計上。

昨年度の支出は無かったが、今年度は、昨年度と今年度を合算した金額となった。

資料③の第14回日本カプセル内視鏡学会学術集会収支決算書(代議員会資料7ページ参照)について、会長山本博徳先生より報告された。

福田監事より、監査の結果、適正な会計処理が行われた旨の報告があり、異議なく承認可決された。

##### 2) 2022年度（2021年12月～2022年11月）収支予算案

加藤理事より2022年度の予算案について、代議委員会資料(10-11ページ参照)に基づいて説明があり、異議なく承認可決された。

2年後に迫ったe-learningシステムの構築と、同時期のテキスト改編が必要なため、必要とされる経費を2021年と2022年に分けて支出項目として計上した。この必要とされる支出を補填する目的で、2021年の収入の部として、寄付金として500万円計上することとした。従って、今年度22年度と、来年度23年度に寄付金を上記の予定で募る予定である。

## 2. 理事、代議員の欠員補充について

人事委員会の松本理事より理事、代議員の欠員補充について説明があり、異議なく承認可決された。

新任理事：久松理一先生（杏林大学医学部消化器内科学 教授）

新任代議員：加賀谷尚史先生（国立病院機構 金沢医療センター 臨床研究部長/消化器内科部長）

小林 三善先生（KKR 高松病院/内視鏡センター長 兼 消化器内科部長）

坂本 博次先生（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門 講師）

平井 郁仁先生（福岡大学医学部 消化器内科学講座 主任教授）

## 3. 規約委員会

### 1) 定款および定款細則の変更について

今枝理事より、日本カプセル内視鏡学会役員を選考および選任について説明があり、異議なく承認可決された。

### 日本カプセル内視鏡学会役員を選考および選任について 定款に定める規定

#### 第 16 条

定款第 4 章に定める、理事、監事および理事長（当法人の代表理事）を本学会の役員とする。

2. 役員は、別に定める役員選考規定に基づき人事委員会および理事会が選考し、代議員会において総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって選任する。

3. 役員は理事長が委嘱する。

4. 理事は、次の各号のいずれかに該当する場合、代議員会において総代議員の過半数以上の賛成により、監事は、総代議員の 3 分の 2 以上の賛成により、これを解任することができる。

1) 心身の故障のため職務遂行に堪えないと認められるとき。

2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

5. 前項の規定により役員を解任する場合は、当該役員にあらかじめ通知するとともに、解任の決議を行う前に、本人が希望すれば当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

#### <役員選考規定>

1. 日本カプセル内視鏡学会（以下本学会）の役員（理事・監事）の選考に際しては、本学会の認める指導医の資格を有し、かつ本学会の代議員であるものより役員として相応しい候補者を、理事の推薦者を含めた候補者の中から人事委員会が選出し、理事会で審議の上決定する。

2. 候補者の選定にあたっては、下記の要件を考慮するものとする。

1) 会費納入状況

2) 学術集会参加状況

- 3) 代議員会出席状況
- 4) 学会関連事業（セミナー等）における指導業績
- 5) カプセル内視鏡に関する研究業績
  - ① 論文業績
  - ② 学術集会における発表
- 6) 年齢（原則として役員就任時60歳以下）
- 7) 会員歴（入会后7年以上）

## 2) 名誉会員規定について

今枝理事より、定款および定款細則に名誉会員の規定がないことから、定款細則への追加検討が説明された。

また、田中理事長より以下の3点について報告された。

1. 名誉会員規定については理事会にて細則で規定としたため、代議員会では報告という形とした事
2. 今後名誉会員の権利権限等については定款に定める必要がある事
3. 定款には所々不備があることが解ってきており、弁護士の先生に相談の上、定款の全体的な見直し整備、改訂を来年の代議員会に向けて検討している事

内容：定款細則 第7章 役員 欄へ下記追加を行う

（名誉会員）

### 第19条

1 名誉会員は、数え年68歳以上の正会員で、学術集会会長の経験者若しくは理事又は本会に貢献をなし、学術研究に顕著な業績を残した者の中から、理事会において選任した者とする。

2 名誉会員は終身とし、定数は設けない。

## 4. 名誉会員の推挙について

田中理事長より、理事藤本一眞先生を名誉会員に推挙され、異議なく承認可決された。

## 5. 後任人事について

人事委員会委員長 松本理事より後任人事について説明があり、異議なく承認可決された。

### 1) 理事をご退任される藤本一眞先生の後任人事について

- ① 倫理委員会 委員長：久松理一先生
- ② 財務委員会 委員：勝木伸一先生

### 2) 規約委員会委員ご辞退による遠藤豊先生の後任人事について

規約委員会 委員：長沼 誠先生

6. カプセル内視鏡の在宅検査の安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究  
(HomeCam-J study)について

学術委員会委員長 樋口理事より説明があり、異議なく承認可決された。

7. 第17回日本カプセル内視鏡学会学術集会（2024年2月開催）会長選出について

1) 田中理事長より塩谷昭子先生が推薦され、異議なく承認可決された。

2) 塩谷昭子先生よりご挨拶があった。

## <報告事項>

### 1. 各委員会報告

#### 1) 総務委員会

① 中村理事より、JACE 会員状況について現状報告があった。

(未払 5 回以上の会員について)

学会員 130 名、準学会員 70 名の内訳として、学会員の減少は定年退職が中心。準学会員はカプセル内視鏡が出来ない施設への異動などが主な理由。

代議員の先生方には、若い先生方や技師さん方へお声掛けいただき会員数を増やしたいと呼びかけた。

② 中村理事より、e ラーニング利用状況について現状報告があった。

#### 2) 読影トレーニング委員会

① 藤森理事より、委員会メンバーについて報告があった。

読影トレーニングセミナーの開催方法の変更など、業務の変更があったため、委員継続の意思確認を行い、以下の 9 名が再任辞退された。

小形典之先生 (昭和大学横浜市北部病院)、加賀谷尚史先生 (金沢医療センター)、  
片岡洋望先生 (名古屋市立大学)、角川康夫先生 (国立がんセンター中央病院)、  
斎藤彰一先生 (がん研有明病院)、酒井明人先生 (富山県立中央病院)、  
野崎良一先生 (のぞき消化器 IBD クリニック)、米島學先生 (市立敦賀病院)、  
若松隆宏先生 (医療法人若松医院) (五十音順)

また、以下の 2 名について推薦があり、平松活志先生、島谷昌明先生にお願いする事が報告された。

米島學先生：福井大学光学診療部准教授 平松活志先生

若松隆宏先生：関西医科大学教授 島谷昌明先生

② 藤森理事より、e ラーニング更新について

2 年後に e ラーニングの更新があるため、その人選に入っている。

また先程の委員欠員の補充等については、今後の必要性に応じて検討したいと報告された。

#### 3) 認定医制度委員会

① 江崎理事より、JACE 共催の企業セミナー

コヴィディエン社の小腸・大腸用カプセル内視鏡 WEB セミナー開催について報告があった。

② 江崎理事より、2021 年認定資格申請結果について報告があった。

認定医 新規：48 名 更新：26 名

指導医 新規：17 名 更新：105 名

指導施設 新規：3 施設 更新：64 施設

#### 4) 認定技師制度委員会

塩谷理事より、2021年認定資格申請結果について報告があった。

小腸 CE 読影支援技師 新規：23名 更新：22名

大腸 CE 読影支援技師 新規：2名 更新：13名

#### 5) 保険委員会

大宮理事より、令和4年度診療報酬改定について報告があった。

「内視鏡的経口カプセル内視鏡留置術」

中医協の答申で、小腸カプセル内視鏡、大腸カプセル内視鏡とも15歳未満に限って、260点の内視鏡的留置術加算がつくことが決定した。

#### 6) 学術委員会

樋口理事より、臨床研究の現状報告があった。

- ①データベース作成委員会での小腸出血における薬剤のケースクロスオーバー解析
- ②パテンシーカプセルの適正使用、安全性、有効性に関する多施設共同前向き研究 (J-POP)
- ③大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究 (ColoCam-J)
- ④カプセル内視鏡内服不可能および内視鏡的挿入補助具に関する全国多施設共同調査 (AdvanCE-J study)
- ⑤クローン病におけるカプセル内視鏡検査の有用性・安全性に関する多施設共同前向き研究
- ⑥血液透析患者における小腸用カプセル内視鏡 PillCam™ SB3 の有効性に関する多施設共同前向き研究 (PROCEED Study)

#### 7) 情報委員会

緒方理事より、ニュースレター Vol. 17 (2021年11月末発行) について報告があった。

#### 8) アトラス作成委員会 (※報告事項が1つ資料から落ちていたため追加)

山本理事より、アトラス (テキスト) の改訂が必要、更新作業についての現状報告があった。

- ① コヴィディエン社も同時期に小腸大腸カプセル内視鏡に関してのアトラス作成予定。
- ② コヴィディエン社と JACE がそれぞれ作成するアトラスは内容、趣旨が異なることを確認。
- ③ 画像提供について、同じ症例でも画像自体が異なっていれば問題ないと確認済み。
- ④ アトラス作成委員会委員長の山本理事、副委員長の中村理事が主責任者とし担当する。

#### 2. JGA(第19回)/JACE(第16回)/IGICS(第16回)/JSMO(第50回) 合同学術集会について

加藤理事より、第16回日本カプセル内視鏡学会学術集会の準備状況が報告された。

以上

上記の議事の内容が正確であることを証するため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人がこれに署名押印する。

2022年2月24日

一般社団法人日本カプセル内視鏡学会 2022年度 第1回代議員会

議長 田中 信治 

議事録署名人 中村 哲也 

同 樋口 和秀 